

# 就任のご挨拶

常務理事 西村 博

このたび私こと、はからずも当協会の常務理事をお引受けすることになりましたのでご挨拶申し上げます。

当協会は昭和46年10月発足以来理事長殿はじめ常任理事各位のご努力により、運営の基盤も確立され、業務内容も各方面多岐にわたり将来の進展が期待されています。

特にこの協会は各大学の諸先生方が戦後のわが国の産業、経済の急激な高度成長の反作用として生れたいろいろの公害や、環境破壊の現状を見るにしのびず、日本の将来のため夫々の造詣の深い専門的英智をもって直接実社会のために貢献したいという奉仕の精神のもとに創設されたもので全く全国でもユニークな組織であり衷心より敬意を表しています。

かかる独特の使命の下に活動しなければならぬ協会の業務の運営をまかされ、その責任の重大さを自覚しています。今後皆様の隔意なきご協力とご指導をお願い致します。

さて現代の進歩した文化、文明の恩恵を享受している世界の先進諸国の中でわが国ほど自然環境が破壊され、いろいろの公害的現象が発生している国はありません。

この原因の一つにはわが国の国民性にあると思います。しかもこの国民性は明治維新以来急速に西洋文明がわが国に流入し、過去の永い間わが民族の中に養成されてきた東洋の思想を軽視する風潮が起り、伝統や民族思想の異なる西洋の文化、文明の模倣に汲々として、自主反省する力を喪失した民族性がこの百年の間に培われ、更に敗戦により物の見方、考え方、価値観、権利の主張、義務観念の衰退は、たまた精神文化軽視等々国内体制の急激な変化により一段と拍車をかけられた結果であると思います。換言しますと常に外側に向かって所謂科学的、理論的に進展せんとする西洋流の知識の導入開発に力を注ぎ、東洋流の内面的思索する力を軽視した「知識偏重、知慧軽視」の結果であると思います。

たとえば古来詩歌の対象であり、情緒の源とも思われてきたあの月も西洋の科学の力でその神秘的なベールをはがれてしまい、今ではアメリカの星条旗すら立てられているという有様でその結果「自然を征服する」というおこがましい、思い上がった言葉すら用いられる時代となってまいりました。従って自然に対する感謝の念、自然を大切にしなければならないという心が薄らいだ結果が環境破壊、公害等の原因となって現われていると思います。

この誤った傾向を是正し、民族の将来を考え、平和を維持するためには西洋流の科学の力と知識を「たて糸」にして東洋流の思索的な知慧を「よこ糸」にして織なす考えで万事を処理すればすべて中庸を得た結果が生れ理想的な社会生活が期待出来ますが、現代は万事「たて糸」も「よこ糸」も知識のみで解決せんとしているからすべて混沌とした、潤なき世相を呈しそれがいろいろの公害の発生源となっています。

かかる世相なればこそ、この協会の如き新しい業務の必要性が生れたものであります。そこで協会の業務をすすめてゆくために心しなければならぬことは、常に知識を深めるとともに知慧を活用し、中立的態度で公害の本質的実態の解明につとめ、自然環境破壊の歯止めの役割をはたすことでもあります。